理科の学力向上に係る3つの取組

【八潮市教育委員会】

- 1 学校・学年・教科 小学校・3~6学年・理科
- 2 ねらい 学習環境の整備を基盤とし、一貫した学習過程による指導を行うことにより、 理科を中心とした学力向上を目指す。

3 取組の内容

○ 理科の学力向上に係る取組

・本校では、教育目標「学び育つ子」に沿い、聴くことの指導を通して、確かな学力の育成を図っている。また、望ましい集団作りの基本である学級経営において、八潮市小中一貫教育の学習・生活ガイドの共通行動とその徹底を行っている。その中で理科における学力向上のために以下の3つの取組を実践している。

1) 学習環境の整備

- ・教員誰もが実験器具や薬品を管理しやすく、また利用しやすくするための理科室の 整備を行う。
- ・八潮市小中一貫教育の学習・生活ガイド(下図)を活用し、理科学習においても学 習規律の徹底を図っている。

2) 理科における一貫した学習過程

・理科の学習過程を「事象→課題→予想・仮説→実験・観察→結果→考察→課題…」 とし、一貫して学習指導を行うことにより、児童の思考力、判断力を向上させる。

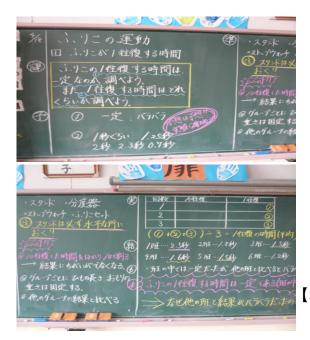
3) 板書の改善とノート指導

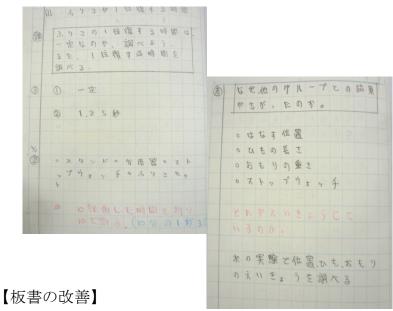
- 『授業の羅針盤』としての教員の板書の改善を図るため、教材研究をより深く行う。
- ・学校研究課題として取り組んでいる国語科での、 $1\sim6$ 学年で統一したノートのとり方や発言・発表の仕方等を、理科学習でも活用している。



【小中一貫教育学習・生活ガイド】

【学習過程】





【児童のノート】

4 成果と課題

1) 学習環境の整備

実験器具の準備が容易になり授業時間の確保につながった。それに伴い、更なる学習規律が確立された。

2) 理科における一貫した学習過程

一貫された学習過程により、児童が学習の流れを把握し、見通しを持って取り組むことができた。実験・観察の際も視点を与えることにより、児童の思考の幅が広がり、理科における学力向上につながった。

3) 板書の改善とノート指導

板書計画の充実を図ることにより、教員の教材研究に対する意識が高まった。また、 児童もノートのまとめ方も見やすく整理するようになり、自分なりに工夫されたノー ト作りを行う児童が見られるようになっている。

今後も学習環境の整備の維持・改善をし、更なる学力向上が出来るよう、工夫された授業の実践を図っていく。

